れんめい和歌山

新年交流会特集

第63号

発行者

和歌山県看護連盟 和歌山市太田4-11-18 リベラルパレス太田501 話 073-488-6575 FAX 073-488-6580

> 発行責任者 石橋 隆子





2020.2	「ごあいさつ」	和歌山県看護連盟	会長	石橋	隆子		2
CONTENTS	「新年挨拶」	日本看護連盟	会長	大島	敏子		3
	和歌山県議	かでとうございます」 会議員 看護を考える会					4
	令和 2 年 和歌山県看護連盟新年交流会 ····································						
	青年部活動報告 「龍神村で開催の『翔龍祭』に参加」9~1						
カンタ	連盟からのお知らせ	・編集後記 他					12



ごあいさつ



和歌山県看護連盟 会長 石橋 降子

新年あけましておめでとうございます。新しい年を迎え皆様には、益々ご健勝の事とお慶び 申し上げます。

元号が令和に変わり、始めてのご挨拶です。

昨年は自然災害が多発し、私達看護連盟会員が所属する八県でも大きな被害が発生しました。幸い和歌山県においては看護連盟会員の皆様には甚大な被害がなく幸いでした。何時、自分たちも同じ立場になるかもしれないと、こころして備えなければなりません。

さて、昨年は前年度の計画に続き、2019 年度の総会を無事終えると同時に第 25 回参議院 議員選挙の最終段階に入り会員の皆様には、大変なご苦労とご協力を頂きました。おかげさま で私たちの代表石田まさひろ参議院議員は 189,893 票を獲得し自民党内候補者 33 名中 12 位で当選することが出来ました。また、医療・介護・福祉関連の団体から選出された候補者の 中でのトップ当選でした。しかし、私たちが目標とした全国 30 万票、県としての 5000 票に はとても及ぶことが出来ませんでした。今回を振り返り今後の活動に生かすため、会員一人ひ とりが連盟会員としての自覚に立ち、具体的な日頃の政治活動について真剣に考え学習しなけ ればならないと強く感じました。また、大きな反省としては投票率に関して、会員自らが確実 に投票に行けたか?そして、会員が期日前投票を含め投票行動を深く理解し、自覚をもって3 ~4人を誘って行動していればこれらの目標も達成できたのではないかと思いますが、いか がでしょうか?全国的低投票率が続く中、今回の選挙では50%を割り、48.8%となりました。 国民の選挙離れが進む中、特に18歳から与えられている青年層の投票率が目立って低下して います。未来を創るこの年齢層の活動が高まるよう連盟活動を進める必要があります。和歌山 県看護連盟における青年部活性化委員会に期待するところです。今一度、皆様のご協力を頂き 令和2年の活動をさらに進めてまいります。 特に先輩連盟会員のご支援とご協力をお願い致し ます。そして、今後の看護現場を担う若者、青年部へのご支援をお願い致します。

連盟会員の皆様、共にこの1年の連盟活動を頑張りましょう。



新年挨拶



日本看護連盟 会長 大島 敏子

謹んで新春のお慶びを申し上げます

昨年は、全国各地にもたらされた想定以上の台風や大雨に驚き、いまだ生活再建が整わない 方がいらっしゃることにも心を痛めております。加えて、自らが被災しながらも看護をお続け 下さった看護職や関係者の皆様に、心よりの感謝を申し上げます。

また、第 25 回参議院選挙では、組織代表の石田まさひろ参議院議員が、二期目の当選を果たし力強い結果を残すことが出来ました。医療職の中でのトップ得票であったことは、ひとえに皆様のお力と感謝しつつ、それでも会員数だけの得票が得られないことに戸惑い力不足を覚えました。もっともっと連盟の誕生から現在までを、如何に看護界を牽引し、また、日本の医療を支えてきたか、会員一人ひとりが自分の言葉で「語り」「伝え」「拡げる」必要があると思いました。

令和を迎えた日本看護連盟は、創立 60 周年。 還暦は、干支が一巡して、誕生年の干支に戻り、 生き返ることです。

私たちの先輩看護職が時間をかけて築いてきた職能活動は、24 時間 365 日、常にベッドサイドで病める人々と共にありました。患者さんが、自らの病を克服し自らの生活を健康に営むための知識や知恵を持ち、生き続けることのサポートを確実にしてゆきましょう。

そのためには、看護実践能力を確固たるものにし、患者さんや利用者さんだけでなく社会の 人々にアピールして参りましょう。

今年は、活動のよりどころとなるスローガンを会員公募し、新たな気持ちで臨床と看護政策 を結んでゆきます。

子年は、新しい生命力が創造される文字をあらわし「子孫繁栄」をもたらします。人生 100 年時代に看護連盟は、看護協会と共に今後とも国民の誰もが安心して暮らせる社会保障のあり 方を構築するため、会員増を図り、看護職の地位向上をめざして更なる政治参加をして参りましょう。



新年あけまして おめでとうございます

和歌山県議会議員 看護を考える会 会長 山田 正彦

令和2年1月26日新春早々に和歌山県看護連盟の新年交流会に、県議会自民党県議団看護 を考える会へ全メンバーをお誘いいただきありがとうございました。

橋本地域から新宮地域までのそれぞれの支部の役員の皆様方と、各選挙区から選出された県議会議員が同じテーブルを囲んでのひとときの時間ですが、話が弾んでいる様子を、会場一周させて頂きながら、微笑ましく感じました。

私は、常々挨拶させていただくそれぞれの場所で、一つ話のように看護師さん達への感謝の 気持ちを述べております。

個人的な事になりますが、胃がんをはじめ、腎臓がん、前立腺、膀胱がん等その他いく度も、 手術台に上るなど、主治医の先生はもちろんのことですが、看護師の皆さん方にその都度、ど れ程お世話になったことか。その当時のことを思い起こせば・・・熱い思いがこみ上げてきます。

これらの医療現場は、少子高齢化がさらに進み、団塊世代が後期高齢化する時代に突入してきます。国家的には財政的にもさらに膨張し、公立、私立を問わず病院経営もさらにきびしい環境になってくる事は明白であります。従って、看護師の皆さん方にも、ご負担がかかることになるだろうと想像されますが、生死と向き合っている患者の皆様は、一日の大半お世話になっている看護師の皆様だけが頼りなのです。

その看護師の皆様方の環境改善のために、看護を考える会の県議会議員が今後とも、一致団結して皆様方をご支援させて頂きます。

患者のために「いつも笑顔で」がんばってください。"笑顔は副作用の無い最高の良薬"です。



・世家の比様へ

14名

7名



令和2年1月26日(日)) 11:00 \sim 13:00、ホテルグランヴィア和歌山に於いて、 新年交流会を開催いたしました。

参加者は、来賓7名、県会議員20名 市町村会議員5名 市町村長2名、支部会員120名でした。

<米質の皆様>			*	<云貝>			
和歌山県副知事	下	宏様		** *	紀北支部	11名	
衆議院議員	石田	真敏 様		** *	那賀支部	11名	
衆議員議員	門	博文 様	•	•	和歌山第1支部	14名	
参議院議員	鶴保	庸介 様	(代理)	** *	和歌山第2支部	16名	
衆議院議員	二階	俊博 様	(代理)	*	和歌山第3支部	17名	
参議院議員	世耕	弘成 様	(代理)	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	海南海草支部	11名	
和歌山県議会議員	看護を考える会会長			*	有田支部	6名	
	Ш⊞	正彦 様	•	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	日高支部	13名	



和歌山第2支部 副支部長 西勝美

紀南支部

個人会員支部

1月26日ホテルグランヴィアにて和歌山県看護連盟新年交流会が、盛大に開催されました。和歌山県看護連盟石橋隆子会長の開会の挨拶で始まり、和歌山県副知事 下宏様、衆議院議員 石田真敏様、参議院議員 鶴保庸介(代理)様、衆議院議員 門博文様、衆議院議員 二階俊博(代理)様、参議院議員 世耕弘成(代理)様、和歌山県議会議員 看護を考える会会長 山田正彦様から来賓の挨拶がありました。

交流会を活発な意見交換の場にするために青年部が企画を運営し進行、各自があらかじめ施設の問題や現場の声を用意して参加しました。内容としては、看護職の雇用対策、看護補助者の確保・待遇対策、在宅支援、子育て支援(夏休み期間の学童保育の受け入れ、病児保育の拡充)、大型連休時の患者搬送の偏りなど多くの意見や要望、質問が用意されていました。議員の方からは、「困ったことがあったらいつでも気軽に言ってもらえればよい」と応えて頂き、有意義な会であったという感想が述べられていました。



和歌山県看護連盟 石橋会長 挨拶



和歌山県看護協会 古川会長 挨拶



石田 真敏 衆議院議員 挨 拶



門 博文 衆議院議員 挨 拶

他にも多くの議員の方々に御挨拶頂戴し、ありがとうございました。



















新年交流会 2020

今回の意見交換会は青年部が企画運営を行いました。議員の方々と 看護管理者の方々が交流を持ち、積極的に意見交換が行われ、最後 に各テーブルより議員の方に意見を発表していただきました。



地方議員との意見交換

那賀地区支部長 灘井 京子

令和元年 11 月 19 日、石橋連盟会長と共に県会議員の先生方に那賀病院を見学して頂きました。 この写真は、那賀病院看護部長のご配慮をいただき病院案内して頂いている様子です。

また、後日意見交換会を開催し、参加者は那賀病院看護部、各病棟師長他、事務部門からも参加 頂くことができ、那賀支部管内医療機関看護管理者である看護部長、看護師長達の出席も頂き意 見交換会ができました。

この意見交換会ではどの病棟も共通した話題として、近年の入院患者の特徴は80~90歳代の高齢者が増え、それに伴い認知症の方が多く、その支援が大変になってきているということでした。この他に参加して頂いた方の意見として、精神科の病院では入院患者数は減少しているが、入院期間が長く高齢で死亡する人もおり、また統合失調症患者の病棟に認知症の方を受け入れ、看護や支援を行なっていて大変という話や、その場合3ヶ月の入院を条件にしているという話も出ました。その他整形外科の病院では、術後や環境の変化に伴うせん妄、認知症、転倒のリスク等があり、高次脳機能障害のケアもしているという話も出されました。これらの問題を議員さん達と共に今後の課題として考えていけたらと考えます。



那賀病院での 見学の様子



















私たちは11月23日・24日に龍神村で開催された『翔龍祭』という地域のお祭りに 看護ブースとして参加してきました。











ブースでは地域の方を対象に血圧測定や人形を用いた心臓 マッサージ体験、そして地域の医療、福祉、看護、生活など いいところや、困っていることなど地域の声をアンケートを 用いて直接聞きに行きました。





実際に行かせてもらい、生の 声を聴くことで、意外な発見があっ たり、新たな医療福祉の問題点が見え てきました。

私たち青年部としては、実際に聞い た内容を政界に届け、諸先生方と 意見交換していきます。

私たちが感じたことは、私たちが 思っているより、医療や生活には困って いないということでした。龍神村には2か所 の診療所があり、ほとんどの地域の高齢者がそ の診療所を利用していました。

しかし、整形外科や小児科などの専門医療を受けるためには、1時間以上車を走らせ 受診しなくてはなりません。





ブースを構えさせていただ けたのも、ご参加頂いた来場者様、 ご支援頂いた皆様、実行委員の皆様の ご協力あってのことです。

ありがとうございました。

私たちが地域の方々とお話しさせてもらっている中で驚いたことがあります。 アンケートを取った方の約 1/3 が 80 歳以上の方でした。それぞれの健康感を 持ち、活き活きと元気に過ごされていました。生きがいを感じ、その土地を愛し ている方ばかりで逆にパワーをもらい龍神村を後にしました。

\$

今後も今回のように、地域に出向き、様々な催しに参加させていただき、 地域と政治を繋ぐ活動を継続して行っていきたいと思います。

青年部活動報告

青年部メンバーは随時募集しています。

ご希望、ご要望等ありましたら、和歌山県看護連盟までお問い合わせください。 また Facebook、Instagram のページもありますので是非とも友達申請お願いいたします。

青年部@龍神村













連盟からのお知らせ



令和2年度 連盟会員 入会受付中!

日本看護連盟会費 5,000円 和歌山県看護連盟会費 3.000円

計 8.000円



皆様のご入会を お待ちしております。



今号は盛会となった新年交流会を特集し、2月発行とさせていただきました。 第6回「和歌山県看護連盟新年交流会」に多くの来賓の皆様、会員の皆様に ご出席いただき誠にありがとうございました。



広報委員一同

東洋羽毛では、お世話になっている方々に無料コーヒーサービスを 行っております。院内での師長会議・主任会議・ラダー研修会・ 研究発表会・勉強会等、地域や支部での看護部長会・看護研修会等 での休憩時にホッと一息つきませんか?

片隅にちょっとだけ、企業PRとしてお布団を 置かせて頂いております。ご購入にも応じます。

いな所でも無料で出張サービスさせて頂きます

東洋羽毛関西販売株式会社



-88-2104 お気軽に御利用ください。